

子ども家庭支援センター1, 2年目の職員にオススメ!

令和4年度 児童相談所関連研修

# 児童家庭福祉

虐待による死亡事例のうち、0歳児の割合は約5割です。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援やアウトリーチなどを通じて、妊娠や子育ての不安、孤立などに対応し、児童虐待のリスクを早期に発見・対応することが求められています。区は虐待対応の第一義的な相談窓口であり、関係機関との連携・調整役となる子ども家庭支援センターの重要性は一層増しています。

本研修は、子ども家庭支援センター等に勤務する職員を主な対象として、児童虐待通告の初期調査や対応をはじめ、子ども家庭相談に関する基礎力と実践力を養う内容となっています。

日程

**6月27日** (月)、**29日** (水) 【2日間】

ねらい

児童虐待を取り巻く情勢を理解し、子ども家庭福祉行政に携わる職員としての自覚や自信を持ちながら、児童虐待に的確に対応することができる実践的能力の向上を図る。

対象

子ども家庭福祉行政に携わる職員【定員：70名程度】

カリキュラム

会場は、受講決定通知にてご案内します。

6月	時間	教科目・講師 (敬称略)
27日 (月)	9:00~ 12:30	<b>通告ケースの初期対応 (講義・演習)</b> 大田区 こども家庭部 子育て支援課 職員
	13:30~ 17:00	<b>児童福祉行政 (講義)</b> 西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 安部 計彦
29日 (水)	9:00~ 12:00	<b>要保護児童対策地域協議会の運営 (講義)</b> 神奈川県 大和綾瀬地域児童相談所 子ども支援課 職員
	13:00~ 17:00	<b>社会的養護 (講義)</b> (13:00~15:15) 法律事務所くらふと 弁護士・社会福祉士 安井 飛鳥 (15:30~17:00) 横浜市 こども青少年局 南部児童相談所 職員
計		2日間 (14時間)

【問合せ先】 特別区職員研修所 教務第2課 児童相談研修係 電話:03-5298-3937